

<輝く旗印>

イザヤ60：1～5

「起きよ、光を放て。」

2つの動詞 起きよ。 光を放て。

輝きを発する光、それ自体は私たちの内にない。
神の光が私たちに注がれ、それを反映させて
私たちが周りに光を放つ。



起きよ・・・「立ち上がれ」という意味がある。

どこから立ち上がるのか？

神などいないという神の存在を否定する世界から。不信仰から。

わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、
いのちの光を持つのです。 ヨハネ8：12

光が差し込むと闇がある事とが明らかになる。

光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行ないが悪かったからである。

ヨハネ3：19

救い主誕生の知らせを聞いた「東方の博士」と「ヘロデ」の反応はどうだったか？
そしてその反応の結果は？

◆クリスチャンは光を放つ燈台のような使命が与えられている。

あかりをつけて、それを柁の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、
家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々が
あなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ5：15、16

伝道とは、私たちの内にあるイエス様の光に、人々が引き寄せられてくること。

「これは、彼らと結ぶわたしの契約である」と主は仰せられる。「あなたの上にあるわたしの霊、わたしがあなたの口に置いたわたしのことばは、あなたの口からも、あなたの子孫の口からも、すえのすえの口からも、今よりとこしえに離れない」と主は仰せられる。 イザヤ 59 : 21

◆決して離れない神の霊と神の言葉によって、私たちは神の救いを映し出す者へと導かれていく。

私たちはみな、顔の覆いをとりのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

Ⅱコリント 3 : 18